

## 第 84 回日本リハビリテーション医学会関東地方会 専門医・認定臨床医生涯教育研修会

○日 時： 2026 年 3 月 1 日（日）9：00～16：50

○会 場： 東京科学大学 M&D タワー2 階 鈴木章夫記念講堂  
〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45 Tel 03-5803-4021  
JR 中央・総武線「御茶ノ水」駅 徒歩 4 分  
東京メトロ 丸の内線「御茶ノ水」駅 徒歩 1 分  
東京メトロ 千代田線「新御茶ノ水」駅 徒歩 6 分

○会 長： 酒井 朋子（東京科学大学 リハビリテーション科）



運営事務局： 第 84 回日本リハビリテーション医学会関東地方会

事務局長 平尾 昌之

東京科学大学病院 リハビリテーション科

Tel：03-5803-4021/5648（外来） E-mail： [hirao.reh@tmd.ac.jp](mailto:hirao.reh@tmd.ac.jp)

○参加費等

- ・ 地方会参加費 医師 3,000 円、メディカルスタッフ 1,000 円、学生 無料
- ・ 日本リハビリテーション医学会 専門医・認定臨床医生涯教育研修会 1 講演 1,000 円
- ・ 日本整形外科学会 教育研修講演 1 講演 1,000 円

○単位認定

- ・ 地方会参加

日本専門医機構専門医は 1 単位(筆頭演者はさらに年度末自己申請により 1 演題 1 単位)

臨床認定医は 10 単位

認定臨床医受験資格要件：認定臨床医の認定に関する内規第 2 条 2 項 2 号に定める指定  
の教育研修会（必須以外）に該当します。

- ・ 生涯教育研修会

日本専門医機構リハビリテーション専門医 1 講演 1 単位（1 日 3 単位まで）

日本整形外科学会教育研修講演 60 分 1 演題 1 単位

○利益相反について

日本リハビリテーション医学会が定める「利益相反の管理に関する申し合わせ」に従って  
ください。利益相反がない場合もスライドで表示してください。

## 参加者の皆様へ

1. 事前参加登録について

下の学会ホームページの「参加登録について」、「単位登録について」ページより登録画面にお進みいただき、該当する参加登録チケット、希望する単位チケットを選択の上、必要項目入力の後決済をお願いします。

参加当日の受付は原則行いませんので、必ず事前登録をお願いします。

やむを得ず当日参加登録の場合、おつりのでない形での対応となります。

<https://jarm84kanto.com/>

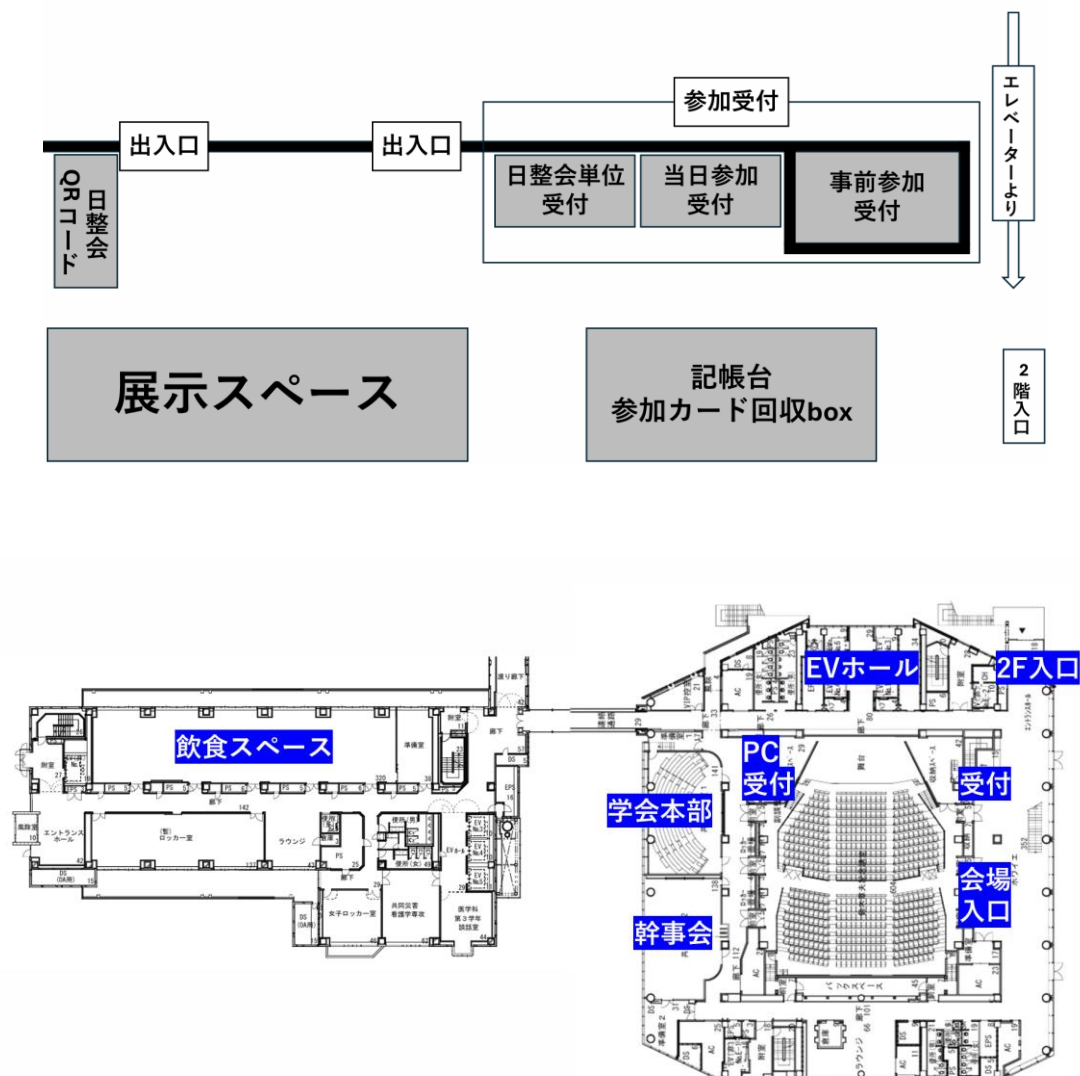
申し込み締め切りは 2026 年 2 月 27 日(金)正午とさせていただきます。

2. 大会当日について

会場のある M&D タワーは 8:00 から開錠となります。それ以前には入れませんのでご注意ください。プログラム集は当日配布しません。必要に応じて本プログラム集を各自ダウンロード、出力してください。受付にて参加カード等書類をお渡しします。参加カードは必要事項記入後記帳台に設置されている回収 box に提出お願いします。会場周辺にはコンビニエンス・ストアや飲食店（徒歩約 10 分）がございます。大会会場内は飲食禁止となっております。11:00～14:00 まで飲食スペースを開放いたしますのでそちら

をご利用ください(後の案内図ご参照ください)。

3. 専門医・認定臨床医生涯教育研修会の単位ご希望の方は、受付でお渡しした受講カードの提出をもって認定させていただきます。各講演後 10 分間(次講演開始時間まで)、出入口に本会スタッフが回収 box を持って控えておりますので必ず該当する講演の受講カート(受講証明書ではありません)の提出をお願いします。確認できない場合は受講単位が認定されない場合がありますのでご注意ください。学術集会参加単位と教育研修受講単位は事務局から日本リハビリテーション医学会へ申請いたします。
4. 日本整形外科学会教育研修講演単位は厳密に事前登録制とさせていただきます。事前登録された方はご記載いただく書類がございますのでお越しください。単位認定は会場入口に設置してあります QR コードリーダーで行います。該当講演開始前 10 分から開始後 10 分までに各自の QR コードをかざしてから入室してください。事前に日整会会員ページ(JOINTS)の QR コードの準備をお願いします。



## **一般演題ご発表の先生方へ**

### **1. 発表方法**

- (1)発表時間は 5 分、質疑応答は 2 分です。発表時間は厳守してください。
- (2)発表は PC を使います。会場演者 PC は Windows11/PowerPoint 2024 を予定しています。
- (3)発表データは USB メモリ等にてお持ち込みください。(タブレット端末やノート PC お持ち込みによる発表は基本的にはできませんが、事情がある場合は事前に事務局にお問い合わせください。)
- (4)発表時は COI 開示のスライドをご提示ください。
- (5)発表の順番が近づきましたら、会場最前列の次演者席にて待機してください。

### **2. PC データ事前受付**

講演セッション開始 30 分前までに PC 受付にて発表データの試写と受付を済ませてください。受付は 1 か所のみ、狭いスペースとなりますので時間に余裕を持ってお越しください。場合によってはセッションの早い方を優先的に対応させていただきますのでご了承ください。

### **3. USB メモリのお持ち込みに関する注意事項**

- (1)ウイルスチェックは最新の定義ファイルを用いて行ってください。
- (2)PPT ファイル名は「演題番号\_演題者名\_pptx」にしてください。
- (3)フォントは OS 標準のもののみをご使用ください。
- (4)スライドサイズは標準 (16 : 9) で作成ください。

### **4. 当日の緊急連絡先について**

当日の欠席や遅延の連絡などは事務局長までメールでご連絡ください。

### **5. お預かりしたデータは、終了後、責任を持って消去いたします。**

### **6. 発表の先生方の参加登録について**

一般演題ご発表の先生方も学会への参加登録は必須です。必ず参加登録をお願いします。  
確認できない場合は発表実績としての認定はいたしませんのでご注意ください。

## 第 84 回日本リハビリテーション医学会

### 関東地方会学術集会 プログラム

---

【開会の辞】 9 : 0 0 ~ 9 : 0 5

会長：酒井 朋子（東京科学大学 リハビリテーション科）

---

---

【一般演題：第 1 部】 9 : 0 5 ~ 1 0 : 0 5

座長：宮武 和正（さいたま赤十字病院 リハビリテーション科）

---

1. インバウンド増加に対するリハビリテーション科の関わりとその重要性  
東京科学大学 リハビリテーション科  
○橋詰 茉優、平尾 昌之、秋山 真奈見、稲見 季香、酒井 朋子
2. 急性期病院における 100 歳以上の超高齢者の退院先に関する検討  
国立病院機構埼玉病院  
○安達 薫、村岡 香織、杉山 瑤、櫛田 幸、辻 哲也
3. 重症心身障害者に合併した大腸がんに対するリハビリテーション治療の一症例  
東京科学大学 リハビリテーション科<sup>1)</sup>  
秋津療育園<sup>2)</sup>  
○秋山 真奈見<sup>1)</sup>、橋詰 茉優<sup>1)</sup>、稲見 季香<sup>1)</sup>、平尾 昌之<sup>1)</sup>、酒井 朋子<sup>1)2)</sup>
4. 薬物療法を主軸とした PCI 後二次予防の現状：外来運動療法未実施施設における再入院率の検討  
東京慈恵会医科大学附属葛飾医療センター  
○江 南、安保 雅博、木村 郁夫、吉田 健太郎
5. 心筋梗塞・脳梗塞合併患者が回復期リハビリテーション医療を通じて身体機能・運動耐容能・冠危険因子の改善を認めた 1 例  
日本大学医学部 リハビリテーション医学分野<sup>1)</sup>  
川口きゅうばらリハビリテーション病院<sup>2)</sup>  
○深澤 高広<sup>1)2)</sup>、牧田 茂<sup>2)</sup>、新見 昌央<sup>1)</sup>

6. レビー小体型認知症 (DLB) に対する運動療法 (EX) を含む多職種連包括的リハビリテーション (リハ)

苑田会竹ノ塚脳神経リハビリテーション病院

○柳 英清、福岡 宏之、鈴木 康之、岩崎 光芳、宮上 光祐、苑田 輝一郎

7. 神経症状を伴うレジオネラ肺炎のリハビリテーション治療に、脳血流 SPECT 検査が有用であった一例

埼玉県立循環器呼吸器病センター リハビリテーション科

○根岸 青葉、福田 大空、石黒 卓、加藤 彩夏、金子 直道、洲川 明久

8. MRI 空間的標準化を用いた視床出血病変局在と運動機能の比較解析

順天堂大学医学部附属浦安病院 リハビリテーション科

○金子 浩太郎、植田 修二郎、村上 悠平、羽鳥 浩三、藤原 俊之

《休憩》

---

【一般演題：第2部】 10：15～11：10

座長：太田 剛（埼玉県済生会川口総合病院 整形外科・リハビリテーション科）

---

9. 内反屈曲変形膝関節症患者の下肢アライメント左右比と歩行分析左右比の関連

那須中央病院

○小島 正博

10. 大腿骨近位部骨折患者における入院時の栄養状態と治療予後との関係について

帝京大学医学部附属溝口病院

○山田 敦久、安井 哲郎、小畑 知博、徳永 貴久、中原 康雄、緒方 直史

11. 右足デグロービング損傷後に合併した内反尖足に対して、装具の工夫により踵荷重歩行が可能となった一例

昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院

○後藤 大輔、小島 大和、武藤 祐汰、杉山 みづき、川手 信行

12. 人工股関節術後の経年的脊椎アライメント変化が身体機能評価と患者立脚評価に及ぼす影響

山梨大学医学部附属病院 リハビリテーション科

○谷口 直史、波呂 浩孝

1 3. 重度知的障害を有する恒久性膝蓋骨脱臼に対して観血的関節制動術を施行した一例

東京科学大学病院 整形外科<sup>1)</sup>

千葉県こども病院 整形外科<sup>2)</sup>

東京科学大学 リハビリテーション科<sup>3)</sup>

○山口 玲子<sup>1)</sup>、瀬川 裕子<sup>1)2)</sup>、酒井 朋子<sup>3)</sup>

1 4. 胸椎硬膜外血腫による胸髄損傷患者におけるリハビリテーション中の筋層内血腫熱の一例

埼玉県総合リハビリテーションセンター 整形外科<sup>1)</sup>

埼玉県総合リハビリテーションセンター リハビリテーション科<sup>2)</sup>

順天堂大学 リハビリテーション科<sup>3)</sup>

○請川 大<sup>1)</sup>、堀 匠<sup>2)</sup>、中原 光三郎<sup>2)3)</sup>、川崎 修平<sup>1)</sup>

1 5. 視覚障害(光覚弁)と右足趾切断を伴う左下腿切断患者が義足歩行を獲得した 1 例

東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座

○濱 碧、柏原 一水、稲葉 祐、吉田 健太郎、安保 雅博

《休憩》

---

【一般演題：第3部】 11：20～12：15

座長：高階 祐輔（桜十字白金リハビリテーション病院 リハビリテーション科）

---

1 6. 精神症状を伴うギラン・バレー症候群に対して多職種によるアプローチが有効であった一例

九段坂病院 リハビリテーション科<sup>1)</sup>

東京科学大学 リハビリテーション科<sup>2)</sup>

○松岡 菜々恵<sup>1)</sup>、小林 健太郎<sup>1)</sup>、平尾 昌之<sup>2)</sup>、酒井 朋子<sup>2)</sup>

1 7. 経時的に嚥下内視鏡を行ったことで、人工呼吸器管理中に経口摂取を再開できた **Guillain-Barre'** 症候群の一例

国際医療福祉大学医学部 リハビリテーション医学教室<sup>1)</sup>

川口きゅうぼりリハビリテーション病院<sup>2)</sup>

○稲留 宏樹<sup>1)2)</sup>、角田 亘<sup>1)</sup>

1 8. 脊髄性筋萎縮症 1 型の児に対して腹臥位用の姿勢保持装置製作を行った一例

東京都立北療育医療センター

○井澤 薫実、矢吹 さゆみ、中村 純人

**19. 妊娠中に発症した重症視神経脊髄炎スペクトラム障害（NMOSD）に対しリハビリテーション治療を行った一例**

群馬大学医学部附属病院リハビリテーション部<sup>1)</sup>

群馬大学大学院医学系研究科リハビリテーション医学<sup>2)</sup>

○中村 美香<sup>1)</sup>、中雄 裕美子<sup>1)</sup>、有井 大典<sup>1)</sup>、伊部 洋子<sup>1)</sup>、田澤 昌之<sup>2)</sup>、和田 直樹<sup>2)</sup>

**20. 新規血管イベントを契機に陳旧性麻痺側の痙縮増悪を呈した3例**

土浦協同病院 リハビリテーション科

○竹原 慧、村上 真慧、岡田 恒夫

**21. ITB ポンプ交換後に意識障害を起こしバクロフェン過剰投与が原因と考えられた症例**

横浜市立大学医学部 リハビリテーション科学

○佐々木 量紀、原木 望、牛尾 会、中村 健

**22. 廊下まで聞こえるいびきで発見された声帯外転筋麻痺の一例**

山梨リハビリテーション病院

○山城 亘央、武田 清、川上 純範、稲田 秀俊

《休憩》



日本リハビリテーション医学会  
専門医・臨床認定医生涯教育研修会

---

講演1 13:30～14:30

座長：酒井 朋子（東京科学大学 リハビリテーション科）

---

「回復期リハビリテーション病棟における心臓リハビリテーション医療の視点」

川口きゅうぼらリハビリテーション病院副院長 牧田 茂

---

講演2 14:40～15:40

座長：荻内 隆司（日産厚生会玉川病院 リハビリテーション科）

---

「災害医療の歩みとリハビリテーションにできること」

東京科学大学災害危機管理部部長 植木 穰

---

講演3 15:50～16:50

座長：加藤 剛（市立青梅総合医療センター 整形外科）

---

「スポーツ外傷に対する高気圧酸素治療の実際とメカニズム」

東京科学大学リベラルアーツ研究教育院教授・病院スポーツサイエンス部門長

柳下 和慶

## ご支援をいただいた企業一覧

下記の方々より多大なるご賛同を頂きました。心より感謝申し上げます。

第84回日本リハビリテーション医学会関東地方会会長 酒井 朋子

### 企業展示

東名ブレース株式会社

フランスベッド株式会社

ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社

### 広告

フクダ電子東京中央販売株式会社

酒井医療株式会社

日本ストライカー株式会社

### 寄付

株式会社イトー医科器械

シュルハメディカル株式会社

# 心臓リハビリテーションのスタンダード

タブレットタイプのため、手元で生体情報の監視が可能

運動中でもノイズを抑えた波形表示が可能

最大8台までの負荷装置をコントロール可能※

※8台の負荷装置をコントロールするためには本体が4台必要です。



## ReHeart

### 心臓運動負荷 モニタリングシステム RH-2000

医療機器認証番号:305ADBZX00042000

販売名:心臓リハビリテーションマネジメント RH-2000システム

管理医療機器 特定保守管理医療機器

フクダ電子株式会社 〒113-8483 東京都文京区本郷3-39-4 <https://www.fukuda.co.jp/>

## 高画質、高機能。 優れた機動性で 様々なニーズに応える診療ツール

超音波画像診断装置

# Smash

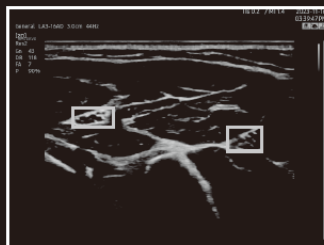
Mobile Excellence HM70 EVO

一般の名称: 汎用超音波画像診断装置

販売名: 超音波画像診断装置HM70 EVO

医療機器認証番号: 304ADBZX00117000

AI技術で神経を自動検出  
NerveTrack(ナーブトラック)機能



※オプション機能

デモンストレーション受付中!

酒井医療株式会社

東京都新宿区山吹町 358-6

[www.sakaimed.co.jp](http://www.sakaimed.co.jp)

TEL: 03-5227-5775



# Insignia®

## Femoral Hip Stem

インシグニア人工股関節ステム

継承された伝統、  
新たなステージへ

### 実績を継承したデザイン

従来製品の特長を生かしながら、近年増加する筋温存型前方アプローチでの容易な操作性を考慮したデザイン

### ダイレクトラテラルオフセット

ハイオフセットの選択により、脚長を維持しながらオフセットだけを調節可能

### Tri-Stage™ Broach

骨形態の分析から生まれたブローチで、再現性の高いステム設置が可能



※本製品に関するお問合せは、弊社営業までお願いします。

医療機器承認/届出番号	販売名
30500BZX00244000	Insignia Hip ステム
13B1X10209000801	関節手術用器械Ⅲ

Literature Number: HE09-019L  
Copyright ©2024 Stryker

製造販売業者  
日本ストライカー株式会社  
112-0004 東京都文京区後楽2-6-1 飯田橋ファーストタワー  
P 03 6894 0000

[www.stryker.com/jp](http://www.stryker.com/jp)